

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7667296号
(P7667296)

(45)発行日 令和7年4月22日(2025.4.22)

(24)登録日 令和7年4月14日(2025.4.14)

(51)国際特許分類

F I

G 0 6 F 3/0481(2022.01)

G 0 6 F 3/0481

H 0 4 N 21/431(2011.01)

H 0 4 N 21/431

請求項の数 15 (全25頁)

(21)出願番号	特願2023-552513(P2023-552513)	(73)特許権者	521431088
(86)(22)出願日	令和4年3月1日(2022.3.1)		北京字跳▲網▼絡技▲術▼有限公司
(65)公表番号	特表2024-509803(P2024-509803 A)		Beijing Zitiao Network Technology Co., Ltd.
(43)公表日	令和6年3月5日(2024.3.5)		中国北京市海淀区紫金数碼園4号楼2層
(86)国際出願番号	PCT/CN2022/078520		0207
(87)国際公開番号	WO2022/184035		0207, 2/F, Building
(87)国際公開日	令和4年9月9日(2022.9.9)		4, Zijin Digital Park, Haidian District, Beijing, P. R. China
審査請求日	令和5年10月11日(2023.10.11)		
(31)優先権主張番号	202110227882.5	(74)代理人	100107766
(32)優先日	令和3年3月1日(2021.3.1)		弁理士 伊東 忠重
(33)優先権主張国・地域又は機関	中国(CN)	(74)代理人	100070150

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 アプリケーションページ表示方法及び装置

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

電子機器により実行されるアプリケーションページ表示方法であって、
ユーザが第1アプリケーションの第1ページで実行した第1操作を受け付けるステップであって、前記第1操作は、前記第1アプリケーションの第2ページに入るために使用され、前記第1ページは前記第2ページと異なるステップと、
前記第1操作を受け付けたことに応答して、前記第2ページに第1タグ、第2タグ、及び前記第1タグに対応する第1領域を表示し、前記第1領域における第1オプションに対応する情報ストリームを再生するステップであって、前記第1タグと前記第2タグとは、識別する機能が異なるステップと、
__プリセット条件を満たす場合、前記第2タグに対応する第2領域の表示に前記第2ページで切り替え、前記第2領域における第2オプションに対応する情報ストリームを再生するステップであって、前記プリセット条件は、プリセット時間長が経過したことを含むステップと、を含む、
ことを特徴とする方法。

【請求項2】

前記第1領域及び前記第2領域は、前記第2ページにおける位置が同じである、
ことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1領域には前記第1オプションと異なる第3オプションがさらに含まれる場合、

前記第 1 領域における第 1 オプションに対応する情報ストリームを再生する前記ステップは、

前記第 1 領域における第 1 オプションに対応する情報ストリームを再生し、かつ前記第 1 領域における第 3 オプションに対応する情報ストリームにおける 1 つのピクチャ画面を表示するステップを含む、

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

ユーザが前記第 2 ページで実行した第 3 操作を受け付けるステップと、

前記第 3 操作を受け付けたことに応答して、前記第 1 領域における第 1 オプションに対応する情報ストリームを再生しかつ前記第 1 領域における第 3 オプションに対応する情報ストリームにおける 1 つのピクチャ画面を表示することから、前記第 1 領域における第 1 オプションに対応する情報ストリームにおける 1 つのピクチャ画面を表示しかつ前記第 1 領域における第 3 オプションに対応する情報ストリームを再生することに切り替えるステップと、をさらに含むことを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 3 操作は、前記第 1 領域における前記第 3 オプションの表示面積をプリセット値以上に増加する操作であり、又は

前記第 3 操作は、前記第 3 オプションを第 1 領域におけるプリセット位置に移動する操作である、ことを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記プリセット位置は、前記第 1 オプションに対応する情報ストリームを再生し、かつ前記第 3 オプションに対応する情報ストリームにおける 1 つのピクチャ画面を表示する場合、前記第 1 領域における前記第 1 オプションに対応する情報ストリームの位置である、

ことを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

1 つのオプションに対応する情報ストリームを再生するステップは、

前記 1 つのオプションに対応する情報ストリームのビデオ画面及びビデオ音声を再生するステップ、又は

前記 1 つのオプションに対応する情報ストリームのビデオ画面を再生するステップを含む、

ことを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 8】

ユーザが前記第 1 領域又は前記第 2 領域における 1 つのオプションで実行した第 4 操作を受け付けるステップと、

前記第 4 操作を受け付けたことに応答して、前記第 1 領域又は前記第 2 領域における 1 つのオプションに対応する情報ストリームのビデオ音声を下げる、上げる、又はミュートするステップと、をさらに含む、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記第 1 タグは、前記第 2 ページの最初のタグであり、前記第 1 オプションは、前記第 1 領域の最初のオプションであり、前記第 2 オプションは、前記第 2 領域の最初のオプションである、

ことを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 10】

タグ又はオプションは、前記第 2 ページのプリセット位置に表示される、

ことを特徴とする請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 11】

前記第 1 タグ及び前記第 2 タグは、前記第 2 ページに 1 行又は複数行で表示される、

ことを特徴とする請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 12】

前記第 1 タグ及び前記第 2 タグにおけるオプションは、前記第 1 アプリケーションにおける前記ユーザの閲覧履歴記録に関連し、

前記第 1 タグ及び前記第 2 タグは、前記第 1 アプリケーションにおける前記ユーザの閲覧履歴記録に関連する、

ことを特徴とする請求項 1 ~ 1.1 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 1 3】

1 つ又は複数のプロセッサと、メモリと、1 つ又は複数のコンピュータプログラムと、を含み、前記 1 つ又は複数のコンピュータプログラムは前記メモリに記憶されている電子機器であって、前記 1 つ又は複数のプロセッサは前記 1 つ又は複数のコンピュータプログラムを実行する場合、前記電子機器に請求項 1 ~ 1.2 のいずれか 1 項に記載の方法を実現させる、

10

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 1 4】

コンピュータ記憶媒体であって、コンピュータ指令を含み、前記コンピュータ指令が電子機器により実行される場合、前記電子機器に請求項 1 ~ 1.2 のいずれか 1 項に記載の方法を実行させる、

ことを特徴とするコンピュータ記憶媒体。

【請求項 1 5】

コンピュータプログラムであって、当該コンピュータプログラムがコンピュータにより実行される場合、前記コンピュータに請求項 1 ~ 1.2 のいずれか 1 項に記載の方法を実行させる、

20

ことを特徴とするコンピュータプログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

[関連出願の相互参照]

本出願は、2021年03月01日に国家知識産権局に提出された、出願番号が202110227882.5であって、出願の名称が「アプリケーションページ表示方法及び装置」である中国特許出願に基づく優先権を主張するものであり、その全内容を援用により本出願に組み込む。

30

[技術分野]

本開示は、コンピュータ技術分野に関し、特にアプリケーションページ表示方法及び装置に関する。

【背景技術】

【0002】

アプリケーション(application、APP)のページでは、1つのエントリに対応するページは、複数の機能セットのコンテンツを表示でき、1つの機能セットは、APPの1つ又は複数の機能からなるものである。しかしながら、1つのエントリに対応するページの表示スペースは限られており、いつも複数の機能セットのコンテンツを十分に表示することができず、ユーザにとって魅力的ではない。

40

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

従って、如何に1つのエントリに対応するページに複数の機能セットのより多くのコンテンツを十分に表示するかは、現在早急に解決しなければならない課題である。

【課題を解決するための手段】

【0004】

上述した課題を解決するために、又は、少なくとも部分的に解決するために、本開示は、アプリケーションページ表示方法及び装置を提供する。

【0005】

50

第 1 の態様において、本開示は、アプリケーションページ表示方法を提供し、ユーザが第 1 アプリケーションの第 1 ページで実行した第 1 操作を受け付けるステップであって、第 1 操作は、第 1 アプリケーションの第 2 ページに入るために使用され、第 1 ページは第 2 ページと異なるステップと、第 1 操作を受け付けたことに応答して、第 2 ページに第 1 タグ、第 2 タグ、及び第 1 タグに対応する第 1 領域を表示し、第 1 領域における第 1 オプションに対応する情報ストリームを再生するステップであって、前記第 1 タグと前記第 2 タグとは、識別する機能が異なるステップと、プリセット条件を満たす場合、第 2 タグに対応する第 2 領域の表示に第 2 ページで切り替え、第 2 領域における第 2 オプションに対応する情報ストリームを再生するステップと、を含む。

10

【 0 0 0 6 】

第 1 の態様により提供される方法によれば、電子機器は、ユーザが第 1 アプリケーションの第 1 ページで実行した第 1 操作を受け付けたことに応答して、第 2 ページに複数のタグ、及び第 1 タグに対応する第 1 領域を表示し、かつ第 1 領域に対応する機能セットにおける情報ストリームを再生することができる。それに、プリセット条件を満たす場合（例えば、プリセット時間長が経過した場合、又はユーザが第 2 タグで実行した第 2 操作を受け付けた場合）、電子機器は、第 2 ページに複数のタグ、及び第 2 タグに対応する第 2 領域を表示し、かつ第 2 領域に対応する機能セットにおける情報ストリームを再生することができる。これにより、1つのページのスペースを十分に利用して複数の機能セット、1つの機能セットの情報ストリームの表示を兼ねることで、ユーザが、各々の機能セットの機能をできるだけ多く明確にすることができ、さらにユーザが、各機能セットのうちユーザの興味や現在事実などのビデオコンテンツを自動又は手動で取得することができ、アプリケーションプログラムが機能セットを豊かで立体的に表示することに寄与し、アプリケーションプログラムを使用するユーザエクスペリエンスを向上させる。

20

【 0 0 0 7 】

可能な設計では、前記プリセット条件は、プリセット時間長が経過したこと、又は前記ユーザが前記第 2 タグで実行した第 2 操作を受け付けたことを含む。

【 0 0 0 8 】

可能な設計では、第 1 領域、第 2 領域は、第 2 ページにおける位置が同じである。

30

【 0 0 0 9 】

可能な設計では、第 1 領域には第 1 オプションと異なる第 3 オプションがさらに含まれる場合、第 1 領域における第 1 オプションに対応する情報ストリームを再生するステップは、第 1 領域における第 1 オプションに対応する情報ストリームを再生し、かつ第 1 領域における第 3 オプションに対応する情報ストリームのうちの 1 つのピクチャ画面を表示するステップを含む。

【 0 0 1 0 】

可能な設計では、当該方法はさらに、ユーザが第 2 ページで実行した第 3 操作を受け付けるステップと、第 3 操作を受け付けたことに応答して、第 1 領域における第 1 オプションに対応する情報ストリームを再生しかつ第 1 領域における第 3 オプションに対応する情報ストリームのうちの 1 つのピクチャ画面を表示することから、第 1 領域における第 1 オプションに対応する情報ストリームのうちの 1 つのピクチャ画面を表示しかつ第 1 領域における第 3 オプションに対応する情報ストリームを再生することに切り替えるステップと、を含む。

40

【 0 0 1 1 】

可能な設計では、第 3 操作は、第 1 領域における第 3 オプションの表示面積をプリセット値以上に増加する操作であり、あるいは、第 3 操作は、第 3 オプションを第 1 領域におけるプリセット位置に移動する操作である。

【 0 0 1 2 】

可能な設計では、プリセット位置は、第 1 オプションに対応する情報ストリームを再生

50

し、かつ第3オプションに対応する情報ストリームのうちの1つのピクチャ画面を表示する場合、第1領域における第1オプションに対応する情報ストリームの位置である。

【0013】

可能な設計では、1つのオプションに対応する情報ストリームを再生するステップは、1つのオプションに対応する情報ストリームのビデオ画面及びビデオ音声を再生するステップ、又は、1つのオプションに対応する情報ストリームのビデオ画面を再生するステップを含む。

【0014】

可能な設計では、当該方法はさらに、ユーザが第1領域又は前記第2領域の1つのオプションで実行した第4操作を受け付けるステップと、第4操作を受け付けたことに応答して、第1領域又は前記第2領域の1つのオプションに対応する情報ストリームのビデオ音声を下げる、上げる、又はミュートするステップと、を含む。

10

【0015】

可能な設計では、第1タグは、第2ページの最初のタグであり、第1オプションは、第1領域の最初のオプションであり、第2オプションは、第2領域の最初のオプションである。

【0016】

可能な設計では、タグ又はオプションは、第2ページのプリセット位置に表示される。

【0017】

可能な設計では、第1タグ及び第2タグは、第2ページに1行又は複数行で表示される。

20

【0018】

可能な設計では、前記第1タグ及び前記第2タグのオプションは、第1アプリケーションにおける前記ユーザの閲覧履歴記録に関連し、前記第1タグ及び前記第2タグは、前記第1アプリケーションにおける前記ユーザの閲覧履歴記録に関連する。

【0019】

第2の態様において、本開示は、電子機器を提供し、メモリと、プロセッサとを含み、メモリは、プログラム指令を記憶するために使用され、プロセッサは、メモリにおけるプログラム指令を呼び出して電子機器に第1の態様及び第1の態様のいずれの可能な設計におけるアプリケーションページ表示方法を実行させるために使用される。

【0020】

30

第3の態様において、本開示は、コンピュータ記憶媒体を提供し、コンピュータ指令を含み、コンピュータ指令が電子機器上に実行される場合、電子機器に第1の態様及び第1の態様のいずれの可能な設計におけるアプリケーションページ表示方法を実行させる。

【0021】

第4の態様において、本開示は、コンピュータプログラムを提供し、コンピュータプログラムがコンピュータ上に実行される場合、コンピュータに第1の態様及び第1の態様のいずれの可能な設計におけるアプリケーションページ表示方法を実行させる。

【0022】

第5の態様において、本開示は、チップシステムを提供し、チップシステムは、プロセッサを含み、プロセッサがメモリに記憶されるコンピュータ指令を実行する場合、電子機器は、第1の態様及び第1の態様のいずれの可能な設計におけるアプリケーションページ表示方法を実行する。

40

【図面の簡単な説明】

【0023】

ここでの図面は、本明細書に組み込まれ、本明細書の一部を構成し、本開示に適合する実施例を示し、明細書と共に本開示の原理を解釈するために使用される。

本開示の実施例、又は従来技術における技術案をより明瞭に説明するために、以下、実施例又は従来技術の記述に必要な図面を簡単に紹介し、明らかに、当業者にとって、創造的な労働なしにこれらの図面に基づいて他の図面を得ることができる。

【図1A】本開示の実施例により提供されるヒューマンインターフェース概略図である。

50

【図 1 B】本開示の実施例により提供されるヒューマンインターフェース概略図である。
【図 1 C】本開示の実施例により提供されるヒューマンインターフェース概略図である。
【図 1 D】本開示の実施例により提供されるヒューマンインターフェース概略図である。
【図 1 E】本開示の実施例により提供されるヒューマンインターフェース概略図である。
【図 1 F】本開示の実施例により提供されるヒューマンインターフェース概略図である。
【図 1 G】本開示の実施例により提供されるヒューマンインターフェース概略図である。
【図 1 H】本開示の実施例により提供されるヒューマンインターフェース概略図である。
【図 1 I】本開示の実施例により提供されるヒューマンインターフェース概略図である。
【図 1 J】本開示の実施例により提供されるヒューマンインターフェース概略図である。
【図 1 K】本開示の実施例により提供されるヒューマンインターフェース概略図である。
【図 1 L】本開示の実施例により提供されるヒューマンインターフェース概略図である。
【図 1 M】本開示の実施例により提供されるヒューマンインターフェース概略図である。
【図 1 N】本開示の実施例により提供されるヒューマンインターフェース概略図である。
【図 2】本開示の実施例により提供されるアプリケーションページ表示方法の概略フローチャートである。

10

【発明を実施するための形態】

【0024】

本開示の上記の目的、特徴、及び利点をより明瞭に理解できるように、以下、本開示の方案をさらに記述する。なお、矛盾しない場合、本開示の実施例、及び実施例における特徴を互いに組み合わせることができる。

20

【0025】

以下の記述において、本開示を十分に理解するように、多くの具体的な詳細が述べられているが、本開示はさらに、ここで記述する方式と異なる他の方式を採用して実施することもでき、明らかに、明細書における実施例は、すべての実施例ではなく、本開示の一部の実施例に過ぎない。

【0026】

例示的に、本開示は、アプリケーションページ表示方法、装置、デバイス、コンピュータ記憶媒体、及びコンピュータプログラムを提供し、アプリケーションプログラムの1つのエントリに対応するページにより複数の機能セットのタグを表示し、そのうちの1つのタグに対応する1つ又は複数のオプションに対応する情報ストリームを再生し、当該ページのスペースを十分に利用して複数の機能セットの表示を兼ねることで、ユーザが、各々の機能セットの機能を快速で明確に理解することができ、さらにユーザが、各機能セットのうちユーザの興味や現在事実などのコンテンツを正確に取得することができ、アプリケーションプログラムを使用するユーザエクスペリエンスを向上させる。

30

【0027】

本開示のアプリケーションページ表示方法は電子機器によって実行される。電子機器は、タブレットPC、携帯電話（例えば、折り畳み可能画面電話、大画面携帯電話など）、ウェアラブルデバイス、車載デバイス、拡張現実（augmented reality、AR）/仮想現実（virtual reality、VR）デバイス、ノートパソコン、ウルトラモバイルパーソナルコンピュータ（ultra-mobile personal computer、UMPC）、ネットブック、携帯情報端末（personal digital assistant、PDA）、スマートテレビ、スマートスクリーン、高解像度テレビ、4Kテレビ、スマートスピーカ、スマートプロジェクタなどのモノのインターネット（the internet of things、IOT）デバイスであってもよく、本開示は電子機器の具体的なタイプについていずれの制限もない。

40

【0028】

本開示は、電子機器のオペレーティングシステムのタイプを限定しない。例えば、Androidシステム、Linux（登録商標）システム、Windowsシステム、iOSシステムなどである。

【0029】

50

前記の記載に基づいて、本開示は、実施例が電子機器を例として、添付の図面及び適用シーンを結合して、本開示により提供されるアプリケーションページ表示方法を詳しく説明する。

【 0 0 3 0 】

図 1 A ~ 図 1 N を結合すれば、本開示のアプリケーションページ表示方法の具体的な実現過程を紹介する。説明の便宜上、図 1 A ~ 図 1 N において、電子機器が携帯電話であり、携帯電話にショートビデオソーシャル A P P 1 (アプリ 1 と略称する) がインストールされていることを例として示す。

【 0 0 3 1 】

図 1 A ~ 図 1 N を参照し、図 1 A ~ 図 1 N は、本開示の実施例により提供されるヒューマンインターフェース概略図である。

10

【 0 0 3 2 】

アプリ 1 は、図 1 A に例示されるユーザインターフェース 1 1 を携帯電話に表示することができ、ユーザインターフェース 1 1 は、アプリ 1 のホームページを表示するために使用され、アプリ 1 は、ある機能セットをアプリ 1 のホームページで実行し、例えば、マルチメディア情報 (例えば、ショートビデオ) を再生する。ユーザインターフェース 1 1 は、コントロール 1 0 1 を含むことができ、コントロール 1 0 1 は、アプリ 1 のディスカバリページに入るために使用され、当該ディスカバリページは、アプリ 1 のライブルーム、好物推薦、及び音楽推薦という 3 つの機能セットを表示するために使用される。

【 0 0 3 3 】

20

図 1 A に示すユーザインターフェース 1 1 においてコントロール 1 0 1 をクリックするような、ユーザによる操作をアプリ 1 が受け付けた後、アプリ 1 は、図 1 B に例示されるウィンドウ 1 0 2 をユーザインターフェース 1 1 に表示することができ、ウィンドウ 1 0 2 は、アプリ 1 のディスカバリページを表示するために使用される。

【 0 0 3 4 】

ウィンドウ 1 0 2 は、サイドバースタイルを採用しており、ウィンドウ 1 0 2 は、ユーザインターフェース 1 1 の領域の一部を覆う。なお、ウィンドウ 1 0 2 とユーザインターフェース 1 1 とのカバー領域は、ユーザインターフェース 1 1 の 1 つの領域であってもよく、本開示は、当該領域のサイズ、位置、形状、及び地色などのパラメータを限定しない。

【 0 0 3 5 】

30

図 1 B では、ウィンドウ 1 0 2 は、タグ 1 0 3 1 と、タグ 1 0 3 2 と、タグ 1 0 3 3 と、表示エリア 1 0 4 とを含んでもよい。

【 0 0 3 6 】

本開示は、各タグの形状、サイズ、色などのパラメータを限定しない。各タグは、アイコン、テキスト、ピクチャ、ビデオなどの表示形態を採用可能である。例えば、タグは、デフォルトアイコンで表示されることができ、あるいは、タグは、アプリ 1 におけるユーザの閲覧履歴コンテンツや事実などのコンテンツに基づいて、個性的にされたアイコンで表示されることができ、例えば、あるライブルームのカバーや 1 つのビデオ画面である。

【 0 0 3 7 】

タグ 1 0 3 1 は、アプリ 1 における 1 つの機能セットを識別するために使用され、当該機能セットは、ライブルームのエントリを提供するために使用される。タグ 1 0 3 1 は表示エリア 1 0 4 に対応し、かつアプリ 1 は、タグ 1 0 3 1 を選ぶ。表示エリア 1 0 4 は、当該機能セットにおける各々のライブルームに入るために使用される。表示エリア 1 0 4 は、アイコン、テキスト、ピクチャ、ビデオなどの形態で各々のライブルームのエントリを表示することができる。

40

【 0 0 3 8 】

表示エリア 1 0 4 は、オプション 1 0 4 1 と、オプション 1 0 4 2 とを含んでもよい。オプション 1 0 4 1、オプション 1 0 4 2 はそれぞれ、1 つのライブルームの情報ストリーム (f e e d) に対応し、対応するライブルームに入るために使用される。図 1 B では、携帯電話は、ウィンドウ (即ち、カード) の形態でオプション 1 0 4 1 におけるライブ

50

配信中のライブルーム 1 の現在のビデオ画面を再生する。携帯電話は、ウィンドウの形態でオプション 1 0 4 2 におけるライブ配信中のライブルーム 2 の 1 つのピクチャ画面（例えば、カバー）を表示する。

【 0 0 3 9 】

また、表示エリア 1 0 4 はさらに、他のオプションを含んでもよい。ライブ配信中のライブルームの情報ストリームに対応すること以外に、他のオプションは、ライブ配信をしないライブルームの情報ストリームに対応することもできる。表示エリア 1 0 4 におけるオプションの数、面積などのパラメータについて、携帯電話の画面サイズなどの状況に応じて設置可能である。

【 0 0 4 0 】

1、タグに対応する情報ストリームにおけるビデオ音声を調整する

携帯電話は、オプション 1 0 4 1 におけるライブルーム 1 の現在のビデオ画面を再生することに加えて、オプション 1 0 4 1 におけるライブルーム 1 の現在のビデオ音声を再生することができる。オプション 1 0 4 1 にはさらに、コントロール 1 0 5 1 が表示されていることができ、コントロール 1 0 5 1 は、オプション 1 0 4 1 に対応するライブルーム 1 の音量を調整するために使用される。

【 0 0 4 1 】

図 1 B に示すオプション 1 0 4 1 においてコントロール 1 0 5 1 をクリックするようなユーザによる操作をアプリ 1 が受け付けた後、アプリ 1 は、図 1 C に例示されるコントロール 1 0 5 2 を携帯電話に表示することができ、ライブルーム 1 の現在のビデオ音声をミュートする。図 1 C に示すオプション 1 0 4 1 においてコントロール 1 0 5 2 をクリックするようなユーザによる操作をアプリ 1 が受け付けた後、アプリ 1 は、図 1 B に例示されるコントロール 1 0 5 1 を携帯電話に表示することができ、ライブルーム 1 の現在のビデオ音声のミュートを取り消す。

【 0 0 4 2 】

あるいは、図 1 B に示すオプション 1 0 4 1 においてコントロール 1 0 5 1 をクリックするようなユーザによる操作をアプリ 1 が受け付けた後、携帯電話は、図 1 D に例示されるコントロール 1 0 5 3 を携帯電話に表示することができる。図 1 D に示すオプション 1 0 4 1 においてコントロール 1 0 5 3 をクリックするようなユーザによる操作をアプリ 1 が受け付けた後、携帯電話は、ライブルーム 1 の現在のビデオ音声を上げる、又は下げることができる。

【 0 0 4 3 】

2、タグに対応する情報ストリームを変更する

図 1 B に示す表示エリア 1 0 4 においてスライドアップするようなユーザによる操作をアプリ 1 が受け付けた後、アプリ 1 は、オプション 1 0 4 1 の表示面積が小さくなり、オプション 1 0 4 2 の表示面積が大きくなるように、表示エリア 1 0 4 におけるオプション 1 0 4 1 及びオプション 1 0 4 2 の表示面積を変更することができる。

【 0 0 4 4 】

オプション 1 0 4 2 の表示面積がプリセット値以上である場合、又はオプション 1 0 4 2 がプリセット距離をスライドした場合、携帯電話は、ウィンドウの形態でオプション 1 0 4 1 におけるライブ配信中のライブルーム 1 の 1 つのピクチャ画面（例えば、カバー）を表示し、携帯電話は、ウィンドウの形態でオプション 1 0 4 2 におけるライブ配信中のライブルーム 2 の現在のビデオ画面を再生し、それでは、アプリ 1 は、図 1 E に例示される表示エリア 1 0 4 を携帯電話に表示することができる。なお、コントロール 1 0 5 1 は、オプション 1 0 4 1 に表示し続けなくなり、オプション 1 0 4 2 に表示される。

【 0 0 4 5 】

オプション 1 0 4 2 がプリセット位置（例えば、図 1 B におけるオプション 1 0 4 1 に対応する位置、即ち、オプション 1 0 4 1 の初期位置）までスライドする場合、携帯電話は、オプション 1 0 4 1 を表示し続けなくなり、携帯電話は、ウィンドウの形態でオプション 1 0 4 2 におけるライブ配信中のライブルーム 2 の現在のビデオ画面を再生し、携帯

10

20

30

40

50

電話は、ウィンドウの形態でオプション 1043 におけるライブ配信中のライブルーム 3 の 1 つのピクチャ画面（例えば、カバー）を表示し、それでは、アプリ 1 は、図 1 F に例示される表示エリア 104 を携帯電話に表示することができる。なお、コントロール 1051 は、オプション 1041 に表示し続けなくなり、オプション 1042 に表示される。

【0046】

なお、携帯電話がオプション 1042 におけるライブルーム 2 の現在のビデオ画面を再生すること以外に、携帯電話は、オプション 1042 におけるライブルーム 2 の現在のビデオ音声を再生することができる。また、コントロール 1051 がオプション 1042 におけるライブルーム 2 のビデオ音声を調節することについて、具体的には、図 1 C ~ 図 1 D における、コントロール 1051 がオプション 1041 におけるライブルーム 1 のビデオ音声を調節する記載を参照可能であり、ここでは贅言しない。

10

【0047】

なお、ユーザは、携帯電話が表示エリア 104 に表示されていないライブルームを表示するように、表示エリア 104 でスライドアップ操作を継続することができる。それに、ユーザは、携帯電話が表示エリア 104 に表示されたライブルームを再表示するように、表示エリア 104 でスライドダウン操作を継続することができる。

【0048】

3、オプションに対応するページに入る

図 1 B に示すウィンドウ 102 においてオプション 1041 をクリックするようなユーザによる操作をアプリ 1 が受け付けた後、アプリ 1 は、図 1 G に例示されるユーザインターフェース 12 を携帯電話に表示することができ、ユーザインターフェース 12 は、ライブルーム 1 の現在のビデオ画面及びビデオ音声を全画面で再生するために使用される。

20

【0049】

なお、表示エリア 104 における他のオプションに対応するページについて、図 1 G における、ユーザインターフェース 12 がオプション 1041 におけるライブルーム 1 を全画面で表示する方式を参照可能である。例えば、アプリ 1 は、携帯電話に 1 つの好物の紹介ビデオを全画面で表示することができ、あるいは、アプリ 1 は、携帯電話に 1 つの曲の MV を全画面で表示することができる。

【0050】

タグ 1032 は、アプリ 1 における 1 つの機能セットを識別するために使用され、当該機能セットは、好物推薦のエントリを提供するために使用される。タグ 1033 は、アプリ 1 における 1 つの機能セットを識別するために使用され、当該機能セットは、音楽推薦のエントリに入るために使用される。各タグは 1 つの領域に対応し、当該領域は、当該タグに対応する機能セットにおける各々のエントリに入るために使用される。

30

【0051】

4、タグを変更する

プリセット時間長が経過した後、又は、図 1 B に示すウィンドウ 102 においてタグ 1032 をクリックするようなユーザによる操作をアプリ 1 が受け付けた後、アプリ 1 は、タグ 1032 を選び、それでは、アプリ 1 は、表示エリア 104 を、図 1 H に例示される表示エリア 106 に変更することができる。

40

【0052】

表示エリア 106 は、タグ 1032 に対応する機能セットにおける各々の好物推薦のエントリに入るために使用される。表示エリア 106 は、アイコン、テキスト、ピクチャ、ビデオなどの形態で各々の好物推薦のエントリを表示することができる。

【0053】

表示エリア 106 は、オプション 1061 と、オプション 1062 とを含んでもよい。オプション 1061 とオプション 1062 はそれぞれ、1 つの好物推薦の情報ストリーム（feed）に対応し、好物に対応する推薦ページに入るために使用される。図 1 H では、携帯電話は、ウィンドウ（即ち、カード）の形態でオプション 1061 におけるライブ配信中のライブルームでの好物 1 のビデオ画面を再生する。携帯電話は、ウィンドウの形

50

態でオプション 1 0 6 2 における好物の 1 つのピクチャ画面（例えば、カバー）を表示する。

【 0 0 5 4 】

また、表示エリア 1 0 6 は、他のオプションをさらに含んでもよい。上記内容以外に、他のオプションは、好物のショッピングリンク、紹介ビデオなどの情報ストリームにも対応することができる。表示エリア 1 0 6 におけるオプションの数、面積などのパラメータについて、携帯電話の画面サイズなどの状況に応じて設置することができる。

【 0 0 5 5 】

なお、表示エリア 1 0 6 における情報ストリームのビデオ音声の調整、オプションの表示方式、及び好物 / 音楽の推薦ページに入ることなどのコンテンツの具体的な実現方式について、それぞれに表示エリア 1 0 4 における情報ストリームのビデオ音声の調整、オプションの表示、及びライブルームに入る記載を参照可能であり、ここでは贅言しない。

10

【 0 0 5 6 】

さらに、プリセット時間長の経過を継続した後、又は、図 1 B に示すウィンドウ 1 0 2 においてタグ 1 0 3 3 をクリックするようなユーザによる操作をアプリ 1 が受け付けた後、アプリ 1 は、表示エリア 1 0 6 を、タグ 1 0 3 3 に対応する表示エリアに変更することができる。

【 0 0 5 7 】

これにより、携帯電話は、デフォルト方式あるいはユーザが設置した方式に基づいて、ウィンドウ 1 0 2 内の複数のタグにおける情報ストリームを自動的にローテーションするか、又は、携帯電話は、ウィンドウ 1 0 2 内の複数のタグにおける情報ストリームを手動で切り替えることができる。

20

【 0 0 5 8 】

タグ 1 0 3 3 に対応する表示エリアは、1 つ又は複数のオプションを含むことができ、各オプションは、音楽の再生画面、カバー、又はミュージックビデオ (m u s i c v i d e o 、 M V) 、又は録音などの情報ストリームに対応する。

【 0 0 5 9 】

5、タグを編集する

図 1 B では、ウィンドウ 1 0 2 は、コントロール 1 0 7 1 をさらに含んでもよく、コントロール 1 0 7 1 は、全てのタグを表示するために使用される。本開示は、コントロール 1 0 7 1 の形状、サイズ、色などのパラメータを限定しない。

30

【 0 0 6 0 】

5 1、全てのタグを表示する

図 1 B に示すウィンドウ 1 0 2 においてコントロール 1 0 7 1 をクリックするようなユーザによる操作をアプリ 1 が受け付けた後、タグ 1 0 3 1、タグ 1 0 3 2、タグ 1 0 3 3、及び表示エリア 1 0 4 に加えて、アプリ 1 は、図 1 I に例示されるタグ 1 0 3 4、コントロール 1 0 7 2 をウィンドウ 1 0 2 に表示することができる。

【 0 0 6 1 】

タグ 1 0 3 4 は、アプリ 1 における 1 つの機能セットを識別するために使用され、当該機能セットは、ウィジェット推薦のエントリを提供するために使用される。タグ 1 0 3 4 は 1 つの領域に対応し、当該領域は、ウィジェットの各々の推薦エントリに入るために使用される。

40

【 0 0 6 2 】

コントロール 1 0 7 2 について、コントロール 1 0 7 2 は、一部のタグを表示するために使用される。本開示は、コントロール 1 0 7 2 の形状、サイズ、色などのパラメータを限定しない。一般的な状況では、コントロール 1 0 7 1、コントロール 1 0 7 2 は、表示位置が同じである。

【 0 0 6 3 】

5 2、一部のタグを表示する

図 1 I に示すウィンドウ 1 0 2 においてコントロール 1 0 7 2 をクリックするようなユー

50

ザによる操作をアプリ 1 が受け付けた後、アプリ 1 は、図 1 B に例示されるウィンドウ 102 を携帯電話に表示することができる。

【0064】

なお、図 1 A に示すユーザインターフェース 11 においてコントロール 101 をクリックするような、ユーザによる操作をアプリ 1 が受け付けた後、図 1 B に例示されるウィンドウ 102 をユーザインターフェース 11 に表示すること以外に、アプリ 1 は、図 1 I に例示されるウィンドウ 102 をユーザインターフェース 11 に表示することができる。

【0065】

これにより、アプリ 1 は、複数のタグを 1 行で表示してもよいし、複数のタグを複数行で表示してもよく、タグの表示方式を豊富にする。

【0066】

53、新しいタグを追加する

また、図 1 I には、タグ 1035 をさらに含んでもよく、タグ 1035 は、新しいタグを追加するために使用される。本開示は、タグ 1035 の形状、サイズ、色などのパラメータを限定しない。

【0067】

図 1 I に示すウィンドウ 102 においてタグ 1035 をクリックするようなユーザによる操作をアプリ 1 が受け付けた後、携帯電話は、オプションページで 1 つ又は複数の新しいタグ、例えば、タグ 1036 を選択でき、それでは、タグ 1031、タグ 1032、タグ 1033、表示エリア 104、タグ 1034、及びタグ 1035 以外に、アプリ 1 は、図 1 J に例示されるタグ 1036 をウィンドウ 102 に表示することができる。

【0068】

タグ 1036 は、アプリ 1 における 1 つの機能セットを識別するために使用され、当該機能セットは、チェックインのエントリを提供するために使用される。タグ 1036 は 1 つの領域に対応し、当該領域は、チェックインの推薦エントリに入るために使用される。

【0069】

図 1 J に示すウィンドウ 102 においてタグ 1036 を長押しするようなユーザによる操作をアプリ 1 が受け付けた後、ウィンドウ 102 は、タグの編集モードに入り、即ち、タグの非編集モードを終了し、それでは、アプリ 1 は、図 1 K に例示される、タグの編集モードにあるウィンドウ 102 を携帯電話に表示することができる。各タグの右下隅に、1 つのコントロール 1073 が追加されており、コントロール 1073 は、対応するタグを削除するために使用される。また、タグ 1035 は、表示し続けなくなる。

【0070】

54、タグの位置を変更する

図 1 K に示すウィンドウ 102 においてタグ 1034 をタグ 1036 の位置に移動するようなユーザによる操作をアプリ 1 が受け付けた後、アプリ 1 は、ウィンドウ 102 におけるタグ 1034 とタグ 1036 の位置が交換するように、図 1 L に例示されるウィンドウ 102 を携帯電話に表示することができる。

【0071】

55、タグを削除する

図 1 K に示すウィンドウ 102 においてタグ 1034 の右下隅のコントロール 1073 をクリックするようなユーザによる操作をアプリ 1 が受け付けた後、アプリ 1 は、タグ 1034 がウィンドウ 102 から削除されるように、図 1 M に例示されるウィンドウ 102 を携帯電話に表示することができる。

【0072】

56、タグの編集モードを終了する

図 1 K に示すウィンドウ 102 においてクリックするようなユーザによる操作をアプリ 1 が受け付けた後、ウィンドウ 102 はタグの編集モードを終了し、即ち、タグの非編集モードに入り、それでは、アプリ 1 は、図 1 N に例示される、タグの非編集モードにあるウィンドウ 102 を携帯電話に表示することができる。各タグの右下隅に、1 つのコントロ

10

20

30

40

50

ール 1 0 7 3 が追加されており、表示し続けなくなる。また、タグ 1 0 3 5 は表示し続ける。

【 0 0 7 3 】

なお、タグの非編集モードでは、タグ 1 0 3 5 は、図 1 I に示すウィンドウ 1 0 2 に表示されなくてもよい。タグの編集モードでは、タグ 1 0 3 5 は、図 1 K に示すウィンドウ 1 0 2 に表示されてもよい。

【 0 0 7 4 】

上述のように、アプリ 1 は、1 つのエントリに対応するページ（サイドバースタイルを採用する）により、複数の機能セットのタグをユーザに表示することができるので、ユーザが複数の機能セットの機能を快速に決定でき、1 つのタグに対応する機能セットの情報ストリームをユーザに再生することで、ユーザがより豊かで立体的な機能セットが得られ、当該エントリに対応するページスペースを十分に利用し、アプリ 1 を使用するユーザの利便性を向上させる。さらに、アプリ 1 が当該ページを表示すると同時に、依然として前のページに対応する機能を継続することができる（マルチメディア情報を再生する）。

【 0 0 7 5 】

また、アプリ 1 は、複数のタグのうち次のタグに対応する情報ストリームに手動で切り替え又は自動的にローテーションすることができ、ユーザはユーザの興味や現在事実などのコンテンツを正確に取得することができる。

【 0 0 7 6 】

また、アプリ 1 は、1 行又は複数行の表示方式で複数のタグを表示することができ、複数のタグを表示する多様性を豊富にする。それに、各タグは、アプリ 1 におけるユーザの閲覧履歴記録、現在人気事実、ユーザの所属地域などのコンテンツに基づいて関連することができ、アプリ 1 は各機能セットのタグを個性的に表示することができる。

【 0 0 7 7 】

また、アプリ 1 は、複数のタグの位置、数を編集でき、例えば、タグの追加、タグの削除、タグの位置の変更等である。

【 0 0 7 8 】

図 1 A ~ 図 1 N の実施例の記載に基づいて、図 2 を結合して、本開示により提供されるアプリケーションページ表示方法の具体的な実現過程を詳しく説明する。

【 0 0 7 9 】

図 2 を参照し、図 2 は、本開示の実施例により提供されるアプリケーションページ表示方法の概略フローチャートである。図 2 に示すように、本開示のアプリケーションページ表示方法は、S 1 0 1 ~ S 1 0 3 を含むことができる。

S 1 0 1、ユーザが第 1 アプリケーションの第 1 ページで実行した第 1 操作を受け付ける。

【 0 0 8 0 】

第 1 アプリケーションの第 1 ページに、第 1 操作に対応する第 2 ページに基づいたエントリが配置されている。従って、電子機器は、第 1 ページで実行した第 1 操作を受け付けることができる。

【 0 0 8 1 】

第 1 ページは、第 1 アプリケーションの 1 つのページであってもよい。例えば、第 1 ページは、第 1 アプリケーションのホームページであってもよいし、第 1 アプリケーションのホームページ以外のページであってもよい。

【 0 0 8 2 】

第 1 操作は、第 1 アプリケーションの第 2 ページに入るために使用され、第 1 操作は、クリック、ダブルクリック、長押し、スライドなどのタイプの操作を含むことができるが、これらに限定されない。例えば、第 1 操作は、第 1 ページにおけるあるコントロールに作用する操作であってもよいし、プリセットジェスチャを満たす操作であってもよく、例えば、ユーザが携帯電話の画面で実行する右スライド / 左スライド / プルアップ / プルダウンの操作である。

【 0 0 8 3 】

10

20

30

40

50

第2ページは、第1アプリケーションの第1ページ以外の1つのページであり、第1ページは第2ページと異なる。しかし、第1ページと第2ページのコンテンツは、同じであってもよいし、異なってもよく、本開示はこれを限定しない。例えば、第2ページは、サイドバースタイルを採用し、第1ページの領域の一部を覆うことができることで、第2ページを介して複数の機能セットのタグ及び1つの機能セットにおけるオプションの情報ストリームを領域化表示することができる。本開示は、第2ページが第1ページを覆う領域のサイズ、位置、面積などのパラメータを限定しない。

【0084】

いくつかの実施例では、第1アプリケーションが図1A～図1Nにおけるアプリ1である場合、第1ページの具体的な実現方式について、図1Aの実施例におけるユーザインターフェース11の記載を参照可能であり、第1操作の具体的な実現方式について、ユーザが図1Aの実施例におけるコントロール101をクリックする記載を参照可能であり、第2ページの具体的な実現方式について、図1B又は図1の実施例におけるウィンドウ102の記載を参照可能であり、ここでは贅言しない。

10

【0085】

S102、第1操作を受け付けたことに応答して、第2ページに第1タグ、第2タグ、及び第1タグに対応する第1領域を表示し、かつ第1領域における第1オプションに対応する情報ストリームを再生する。

【0086】

電子機器は、第1操作を受け付けた後、第2ページに第1タグ、第2タグ、及び第1タグに対応する第1領域を表示し、かつ第1領域における第1オプションに対応する情報ストリームを再生する。

20

【0087】

第1タグ(タグ)は、第1領域の各々のオプションの機能を識別するために使用され、第1タグは第2タグと異なる。いくつかの実施例では、第1タグ、又は第1タグにおけるオプションは、第2ページのプリセット位置に表示され、即ち、第2ページにおける第1タグの位置が固定され、第2ページにおける第1オプションの位置も固定される。

【0088】

前記第1タグと前記第2タグとは、識別する機能が異なり、第1タグに対応する第1領域に1つ又は複数のオプションが設けられており、各オプションは、第1タグに対応する機能セットにおける1つの情報ストリームを表示するために使用される。ここでの情報ストリームは、1つのビデオセグメントと理解されることができ、例えば、1つのライブルームのビデオ、又は、1つの好物の解説ビデオ、又は、1つの曲のMVである。

30

【0089】

本開示は、第2ページにおける第1領域の位置、サイズ、色などのパラメータを限定しない。例えば、第1タグは、第2ページの最初のタグであり、第1オプションは、第1領域の最初のオプションである。

【0090】

また、第1タグ、又は第1タグにおけるオプションの表示コンテンツ、表示スタイルは、第1アプリケーションにおけるユーザの閲覧履歴記録、現在人気事実、ユーザの所属地域などのコンテンツに基づいて関連することができ、第1アプリケーションが第1タグを個性的に表示し、ユーザの行動習慣により近い1つの情報ストリームを第1オプションに表示することができる。

40

【0091】

いくつかの実施例では、第1タグの具体的な実現方式について、図1B～図1F及び図1I～図1Nにおけるタグ1031の記載を参照可能であり、それに応じて、第2タグの具体的な実現方式について、図1B～図1F及び図1I～図1Nにおけるタグ1032、タグ1033、タグ1034、及びタグ1036のうちの1つのタグの記載を参照可能であり、第1タグに対応する第1領域の具体的な実現方式について、図1B～図1F及び図1I～図1Nにおける表示エリア104の記載を参照可能であり、ここでは贅言しない。

50

【 0 0 9 2 】

対応して、第 1 領域における第 1 オプションについて、図 1 B ~ 図 1 D 及び図 1 I ~ 図 1 N における表示エリア 1 0 4 のオプション 1 0 4 1 の記載を参照可能であり、第 1 領域における第 1 オプションに対応する情報ストリームの具体的な実現方式について、図 1 B ~ 図 1 D 及び図 1 I ~ 図 1 N におけるオプション 1 0 4 1 に対応する情報ストリームの記載を参照可能であり、ここでは贅言しない。

【 0 0 9 3 】

対応して、第 1 領域における第 1 オプションについて、図 1 E ~ 図 1 F における表示エリア 1 0 4 のオプション 1 0 4 2 の記載を参照可能であり、第 1 領域における第 1 オプションに対応する情報ストリームの具体的な実現方式について、図 1 E ~ 図 1 F における表示エリア 1 0 4 のオプション 1 0 4 2 に対応する情報ストリームの記載を参照可能であり、ここでは贅言しない。

10

【 0 0 9 4 】

別のいくつかの実施例では、第 1 タグの具体的な実現方式について、図 1 H におけるタグ 1 0 3 2 の記載を参照可能であり、対応して、第 2 タグの具体的な実現方式について、図 1 H におけるタグ 1 0 3 1、タグ 1 0 3 3、タグ 1 0 3 4、及びタグ 1 0 3 6 のうちの 1 つのタグの記載を参照可能であり、第 1 タグに対応する第 1 領域の具体的な実現方式について、図 1 H における表示エリア 1 0 6 の記載を参照可能であり、第 1 領域における第 1 オプションについて、図 1 H における表示エリア 1 0 6 のオプション 1 0 6 1 の記載を参照可能であり、第 1 領域における第 1 オプションに対応する情報ストリームの具体的な実現方式について、図 1 H におけるオプション 1 0 6 1 に対応する情報ストリームの記載を参照可能であり、ここでは贅言しない。

20

【 0 0 9 5 】

いくつかの例示では、プリセット条件を満たす場合、第 2 タグに対応する第 2 領域を第 2 ページに表示することに切り替えることができ、プリセット条件は、プリセット時間が経過したことであってもよいし、ユーザが第 2 タグで実行した第 2 操作を受け付けたことであってもよい。

【 0 0 9 6 】

S 1 0 3、プリセット時間長が経過した後、又は、ユーザが第 2 タグで実行した第 2 操作を受け付けた後、第 2 ページに第 1 タグ、第 2 タグ、及び第 2 タグに対応する第 2 領域を表示し、かつ第 2 領域における第 2 オプションに対応する情報ストリームを再生する。

30

【 0 0 9 7 】

電子機器は、プリセット時間長が経過した後、電子機器が、第 2 ページに第 1 タグ、第 2 タグ、及び第 2 タグに対応する第 2 領域を表示し、かつ第 2 領域における第 2 オプションに対応する情報ストリームを再生することができるように、第 2 ページにおける第 1 タグに対応する第 1 領域を、第 2 タグに対応する第 2 領域に自動的に交換することができる。

【 0 0 9 8 】

本開示は、プリセット時間長の具体的な数値を限定しない。

【 0 0 9 9 】

あるいは、電子機器は、第 2 操作を受け付けた後、電子機器が、第 2 ページに第 1 タグ、第 2 タグ、及び第 2 タグに対応する第 2 領域を表示し、かつ第 2 領域における第 2 オプションに対応する情報ストリームを再生することができるように、第 2 ページの第 1 タグに対応する第 1 領域を、第 2 タグに対応する第 2 領域に手動で交換することができる。

40

【 0 1 0 0 】

第 2 操作は、タグを交換するために使用され、第 2 操作は、クリック、ダブルクリック、長押し、スライドなどのタイプの操作を含むことができるが、これらに限定されない。例えば、第 2 操作は、あるタグに作用する操作であってもよいし、プリセットジェスチャを満たす操作であってもよい。

【 0 1 0 1 】

第 2 タグは、第 2 領域における各々のオプションの機能を識別するために使用される。

50

いくつかの実施例では、第2タグ、又は第2タグにおけるオプションは、第2ページのプリセット位置に表示され、即ち、第2ページにおける第2タグの位置が固定され、第2ページにおける第2オプションの位置も固定される。例えば、第2オプションは、第2領域の最初のオプションである。

【0102】

また、本開示は、第1タグ及び第2タグの表示方式を限定しない。いくつかの実施例では、第1タグ及び第2タグは、第2ページに1行又は複数行で表示される。これにより、第2ページに複数のタグを表示する方式を豊富にする。

【0103】

第2タグに対応する第2領域には、1つ又は複数のオプションが設けられており、各オプションは、第2タグに対応する機能セットの1つの情報ストリームを表示するために使用される。ここでの情報ストリームは、1つのビデオセグメントと理解されることができ、例えば、1つのライブルームでのビデオ、又は、1つの好物の解説ビデオ、又は、1つの曲のMVである。

10

【0104】

本開示は、第2ページにおける第2領域の位置、サイズ、色などのパラメータを限定しない。いくつかの実施例では、第2ページにおける第1領域、第2領域の位置が同じままであってもよい。

【0105】

また、第2タグ、又は第2タグにおけるオプションの表示コンテンツ、表示スタイルは、第1アプリケーションにおけるユーザの閲覧履歴記録、現在人気事実、ユーザの所属地域などのコンテンツに基づいて関連することができ、第1アプリケーションは第2タグを個性的に表示し、ユーザの行動習慣により近い1つの情報ストリームを第2オプションに表示することができる。

20

【0106】

いくつかの実施例では、第2操作の具体的な実現方式について、ユーザが図1Bの実施例におけるタグ1032をクリックする記載を参照可能であり、第2タグの具体的な実現方式について、図1Hにおけるタグ1032の記載を参照可能であり、第2タグに対応する第2領域の具体的な実現方式について、図1Hにおける表示エリア106の記載を参照可能であり、第2領域における第2オプションについて、図1Hにおける表示エリア106のオプション1061の記載を参照可能であり、第2領域における第2オプションに対応する情報ストリームの具体的な実現方式について、図1Hにおけるオプション1061に対応する情報ストリームの記載を参照可能であり、ここでは贅言しない。

30

【0107】

本開示により提供されるアプリケーションページ表示方法は、電子機器により、ユーザが第1アプリケーションの第1ページで実行した第1操作を受け付けたことに応答して、第2ページに複数のタグ、及び第1タグに対応する第1領域を表示し、かつ第1領域に対応する機能セットの情報ストリームを再生することができる。それに、プリセット時間が経過した後、又は、ユーザが第2タグで実行した第2操作を受け付けた後、電子機器は、第2ページに複数のタグ、及び第2タグに対応する第2領域を表示し、かつ第2領域に対応する機能セットの情報ストリームを再生することができる。これにより、1つのページのスペースを十分に利用して複数の機能セットと1つの機能セットの情報ストリームの表示を兼ねることで、ユーザが、各々の機能セットの機能をできるだけ多く明確にすることができ、さらにユーザが、各機能セットのうちユーザの興味や現在事実などのビデオコンテンツを自動又は手動で取得することができ、アプリケーションプログラムが機能セットを豊かで立体的に表示できることに寄与し、アプリケーションプログラムを使用するユーザエクスペリエンスを向上させる。

40

【0108】

また、第1ページが第1アプリケーションのマルチメディア情報に対応する場合、電子機器は、マルチメディア情報の再生状態を保持するように、第2ページを表示すると同時

50

に、第 1 ページにおいてマルチメディア情報を再生し続けることができる。

【 0 1 0 9 】

前記の記載に基づいて、第 1 領域に第 3 オプションがさらに含まれる場合、電子機器は、第 1 オプションに対応する情報ストリームを再生し、かつ第 3 オプションに対応する情報ストリームのうちの 1 つのピクチャ画面を表示することができる。

【 0 1 1 0 】

第 3 オプションは、第 1 タグに対応する第 1 領域の 1 つのオプションであってもよく、第 1 オプションは第 3 オプションと異なり、第 3 オプションは、第 1 タグに対応する機能セットの 1 つの情報ストリームを表示するために使用される。

【 0 1 1 1 】

いくつかの実施例では、第 1 領域における第 1 オプションについて、図 1 B ~ 図 1 D 及び図 1 I ~ 図 1 N における表示エリア 1 0 4 のオプション 1 0 4 1 の記載を参照可能であり、対応して、第 3 オプションについて、図 1 B ~ 図 1 D 及び図 1 I ~ 図 1 N における表示エリア 1 0 4 のオプション 1 0 4 2 の記載を参照可能であり、第 1 領域の第 2 オプションに対応する情報ストリームの具体的な実現方式について、図 1 B ~ 図 1 D 及び図 1 I ~ 図 1 N におけるオプション 1 0 4 2 に対応する情報ストリームの記載を参照可能であり、ここでは贅言しない。

【 0 1 1 2 】

別のいくつかの実施例では、第 1 領域における第 1 オプションについて、図 1 E ~ 図 1 F における表示エリア 1 0 4 のオプション 1 0 4 2 の記載を参照可能であり、対応して、第 1 領域における第 3 オプションについて、図 1 E ~ 図 1 F における表示エリア 1 0 4 のオプション 1 0 4 1 又はオプション 1 0 4 3 の記載を参照可能であり、第 1 領域の第 2 オプションに対応する情報ストリームの具体的な実現方式について、図 1 E ~ 図 1 F の表示エリア 1 0 4 におけるオプション 1 0 4 1 又はオプション 1 0 4 3 に対応する情報ストリームの記載を参照可能であり、ここでは贅言しない。

【 0 1 1 3 】

別のいくつかの実施例では、第 1 領域における第 1 オプションについて、図 1 H における表示エリア 1 0 6 のオプション 1 0 6 1 の記載を参照可能であり、第 1 領域の第 2 オプションについて、図 1 H における表示エリア 1 0 6 のオプション 1 0 6 2 の記載を参照可能であり、第 1 領域における第 1 オプションに対応する情報ストリームの具体的な実現方式について、図 1 H におけるオプション 1 0 6 1 に対応する情報ストリームの記載を参照可能であり、第 1 領域における第 2 オプションに対応する情報ストリームの具体的な実現方式について、図 1 H におけるオプション 1 0 6 2 に対応する情報ストリームの記載を参照可能であり、ここでは贅言しない。

【 0 1 1 4 】

前記の記載に基づいて、第 1 領域に第 1 オプション及び第 3 オプションが含まれる場合、電子機器は、第 1 タグに対応する機能セットにおける情報ストリームを交換することもできる。

【 0 1 1 5 】

いくつかの実施例では、電子機器は、ユーザが第 2 ページで実行した第 3 操作を受け付けることができる。第 3 操作は、再生する 1 つのオプションに対応する情報ストリームを、別のオプションに対応する情報ストリームに交換するために使用され、第 3 操作は、クリック、ダブルクリック、長押し、スライドなどのタイプの操作を含むことができるが、これらに限定されない。例えば、第 3 操作は、当該オプションにおけるあるコントロールに作用する操作であってもよいし、プリセットジェスチャを満たす操作であってもよい。

【 0 1 1 6 】

いくつかの実施例では、第 3 操作の具体的な実現方式について、ユーザが図 1 B の実施例で実行したスライドアップ操作の記載を参照可能であり、ここでは限定しない。

【 0 1 1 7 】

第 3 操作は、第 1 領域における第 3 オプションの表示面積をプリセット値以上に増加す

10

20

30

40

50

る操作であってもよい。本開示は、プリセット値のサイズを限定しない。例えば、プリセット値は、第3オプションの面積全体である。

【0118】

あるいは、第3操作は、第3オプションの移動距離がプリセット距離以上である操作であってもよい。本開示は、プリセット距離のサイズを限定しない。例えば、プリセット距離は、第3オプションの長さの半分である。

【0119】

あるいは、第3操作は、第3オプションを第1領域におけるプリセット位置に移動する操作であってもよい。プリセット位置は、第1オプションに対応する情報ストリームを再生し、かつ第3オプションに対応する情報ストリームのうちの1つのピクチャ画面を表示する場合、第1領域における第1オプションに対応する情報ストリームの位置である。いくつかの例示では、プリセット位置は、第1領域における第1オプションに対応する情報ストリームの初期位置であってもよい。

10

【0120】

これにより、電子機器は、第3操作を受け付けた後、第1オプションに対応する情報ストリームを再生しかつ第3オプションに対応する情報ストリームのうちの1つのピクチャ画面を表示することから、第1オプションに対応する情報ストリームのうちの1つのピクチャ画面を表示しかつ第3オプションに対応する情報ストリームを再生することに更新することができる。

【0121】

また、第3オプションのスライド過程において、第1アプリケーションは、吸着効果を設置し、かつ第1領域における最初のオプションに対応する情報ストリームをデフォルトで再生することができる。これにより、電子機器は、第3操作を受け付けた後、第3オプションを第1オプションの位置箇所に吸着して表示することができ、第3オプションを、第2ページに完全に表示し、かつ第3オプションに対応する情報ストリームを自動的に再生することができる。

20

【0122】

いくつかの例示では、情報ストリームは、ビデオ画面及びビデオ音声を含むことができる。別のいくつかの例示では、情報ストリームは、ビデオ画面を含むことができる。ステップS102における、第1領域における第1オプションに対応する情報ストリームを再生すること、又は、ステップS103における、第2領域における第2オプションに対応する情報ストリームを再生することのうちの、1つのオプションに対応する情報ストリームを再生することについて、電子機器は、当該オプションに対応する情報ストリームのビデオ画面及びビデオ音声を再生し、又は、1つのオプションに対応する情報ストリームのビデオ画面を再生してミュートすることができる。

30

【0123】

上記の記載に基づいて、電子機器は、当該オプションに対応する情報ストリームのビデオ音声を調整することもできる。いくつかの実施例では、電子機器は、ユーザが1つのオプションの表示領域で実行した第4操作を受け付けることができる。電子機器は、第4操作を受け付けた後、1つのオプションに対応する情報ストリームのビデオ音声を下げる、上げる、又はミュートすることができる。例えば、電子機器は、ユーザが第1領域又は第2領域の1つのオプションで実行した第4操作を受け付けて、前記第1領域又は前記第2領域の1つのオプションに対応する情報ストリームのビデオ音声を下げる、上げる、又はミュートする。

40

【0124】

第4操作は、1つのオプションに対応する情報ストリームのビデオ音声を調整するために使用され、第4操作は、クリック、ダブルクリック、長押し、スライドなどのタイプの操作を含むことができるが、これらに限定されない。例えば、第4操作は、当該オプションのあるコントロールに作用する操作であってもよいし、プリセットジェスチャを満たす操作であってもよい。

50

【 0 1 2 5 】

いくつかの実施例では、第 4 操作の具体的な実現方式について、ユーザが図 1 B の実施例におけるコントロール 1 0 5 1 をクリックする記載を参照可能であり、あるいは、第 4 操作の具体的な実現方式について、ユーザが図 1 C の実施例におけるコントロール 1 0 5 2 をクリックする記載を参照可能であり、第 4 操作の具体的な実現方式について、ユーザが図 1 D の実施例におけるコントロール 1 0 5 3 をクリックする記載を参照可能であり、ここでは限定しない。

【 0 1 2 6 】

前記の記載に基づいて、第 2 ページに複数のタグが表示される場合、本開示は、複数のタグの位置、サイズ、数などを編集できる。

10

【 0 1 2 7 】

電子機器は、既に表示されたタグを第 2 ページで削除することができる。いくつかの実施例では、第 2 ページにさらに、第 1 コントロールが表示されていることができ、第 1 コントロールはタグを削除するために使用される。本開示は、第 1 コントロールの形状、サイズ、位置、色などのパラメータを限定しない。電子機器は、ユーザが第 1 コントロールで実行した第 5 操作を受け付けることができる。第 5 操作は、タグを削除するために使用され、第 5 操作は、クリック、ダブルクリック、長押し、スライドなどのタイプの操作を含むことができるが、これらに限定されない。例えば、第 5 操作は、第 1 コントロールに作用する操作であってもよいし、プリセットジェスチャを満たす操作であってもよい。これにより、電子機器は、第 5 操作を受け付けた後、第 2 ページから第 1 タグを削除することができる。

20

【 0 1 2 8 】

いくつかの実施例では、第 1 コントロールの具体的な実現方式について、図 1 K の実施例におけるコントロール 1 0 7 3 の記載を参照可能であり、第 5 操作の具体的な実現方式について、ユーザが図 1 K の実施例におけるコントロール 1 0 7 3 をクリックする記載を参照可能であり、第 1 タグを削除する具体的な実現方式について、ユーザが図 1 M の実施例における削除タグ 1 0 3 4 をクリックする記載を参照可能であり、ここでは限定しない。

【 0 1 2 9 】

電子機器は、表示されないタグを第 2 ページに追加することができる。いくつかの実施例では、第 2 ページにさらに、第 2 コントロールが表示されていることができ、第 2 コントロールは新しいタグを追加するために使用される。本開示は、第 2 コントロールの形状、サイズ、位置、色などのパラメータを限定しない。電子機器は、ユーザが第 2 コントロールで実行した第 6 操作を受け付けることができる。第 6 操作は、新しいタグを追加するために使用され、第 6 操作は、クリック、ダブルクリック、長押し、スライドなどのタイプの操作を含むことができるが、これらに限定されない。例えば、第 6 操作は、第 2 コントロールに作用する操作であってもよいし、プリセットジェスチャを満たす操作であってもよい。これにより、電子機器は、第 6 操作を受け付けた後、第 2 ページに第 3 タグを表示することができ、第 3 タグは、第 1 タグ、第 2 タグと異なる。

30

【 0 1 3 0 】

いくつかの実施例では、第 2 コントロールの具体的な実現方式について、図 1 I の実施例におけるタグ 1 0 3 5 の記載を参照可能であり、第 6 操作の具体的な実現方式について、ユーザが図 1 I の実施例におけるタグ 1 0 3 5 をクリックする記載を参照可能であり、第 3 タグの具体的な実現方式について、ユーザが図 1 J の実施例におけるタグ 1 0 3 6 をクリックする記載を参照可能であり、ここでは限定しない。

40

【 0 1 3 1 】

電子機器は、第 2 ページに既に表示されたタグの位置を移動することができる。いくつかの実施例では、電子機器は、ユーザが第 1 タグで実行した第 7 操作を受け付けることができる。第 7 操作は、タグの位置を移動するために使用され、第 7 操作は、クリック、ダブルクリック、長押し、スライドなどのタイプの操作を含むことができるが、これらに限定されない。例えば、第 7 操作は、プリセットジェスチャを満たす操作であってもよい。

50

これにより、電子機器は、第 7 操作を受け付けた後、第 2 ページで第 1 タグ、第 2 タグの位置を互いに交換することができる。

【 0 1 3 2 】

いくつかの実施例では、第 7 操作の具体的な実現方式について、ユーザが図 1 K の実施例におけるタグ 1 0 3 4 をタグ 1 0 3 6 の位置に移動する操作の記載を参照可能であり、第 1 タグ、第 2 タグの位置を交換する具体的な実現方式について、図 1 L の実施例におけるウィンドウ 1 0 2 におけるタグ 1 0 3 4 とタグ 1 0 3 6 の位置の交換の記載を参照可能であり、ここでは限定しない。

【 0 1 3 3 】

電子機器は、第 2 ページに全てのタグを表示することができる。いくつかの実施例では、第 2 ページにさらに、第 3 コントロールが表示されていることができ、第 3 コントロールは全てのタグを表示するために使用される。本開示は、第 3 コントロールの形状、サイズ、位置、色などのパラメータを限定しない。電子機器は、ユーザが第 3 コントロールで実行した第 8 操作を受け付けることができる。第 8 操作は、全てのタグを表示するために使用され、第 8 操作は、クリック、ダブルクリック、長押し、スライドなどのタイプの操作を含むことができるが、これらに限定されない。例えば、第 8 操作は、第 3 コントロールに作用する操作であってもよいし、プリセットジェスチャを満たす操作であってもよい。これにより、電子機器は、第 8 操作を受け付けた後、第 2 ページに第 1 タグ及び第 2 タグを表示することから、第 2 ページに第 1 タグ、第 2 タグ、及び第 4 タグを表示することに更新することができ、第 4 タグは、第 1 タグ、第 2 タグと異なる。

【 0 1 3 4 】

いくつかの実施例では、第 3 コントロールの具体的な実現方式について、図 1 B の実施例におけるコントロール 1 0 7 1 の操作の記載を参照可能であり、第 8 操作の具体的な実現方式について、ユーザが図 1 B の実施例におけるコントロール 1 0 7 1 をクリックする操作の記載を参照可能であり、第 1 タグ、第 2 タグ、及び第 4 タグを表示する具体的な実現方式について、図 1 I の実施例におけるタグ 1 0 3 1、タグ 1 0 3 2、タグ 1 0 3 3、及びタグ 1 0 3 4 の記載を参照可能であり、ここでは限定しない。

【 0 1 3 5 】

電子機器は、第 2 ページに一部のタグを表示することができる。いくつかの実施例では、第 2 ページにさらに、第 4 コントロールが表示されていることができ、第 4 コントロールは一部のタグを表示して一部のタグを隠すために使用される。本開示は、第 4 コントロールの形状、サイズ、位置、色などのパラメータを限定しない。電子機器は、ユーザが第 4 コントロールで実行した第 9 操作を受け付けることができる。第 9 操作は、一部のタグを表示するために使用され、第 9 操作は、クリック、ダブルクリック、長押し、スライドなどのタイプの操作を含むことができるが、これらに限定されない。例えば、第 9 操作は、第 4 コントロールに作用する操作であってもよいし、プリセットジェスチャを満たす操作であってもよい。これにより、電子機器は、第 9 操作を受け付けた後、第 2 ページに第 1 タグ及び第 2 タグを表示することから、第 2 ページに第 1 タグを表示することに更新することができる。

【 0 1 3 6 】

いくつかの実施例では、第 4 コントロールの具体的な実現方式について、図 1 I の実施例におけるコントロール 1 0 7 2 の操作の記載を参照可能であり、第 9 操作の具体的な実現方式について、ユーザが図 1 I の実施例におけるコントロール 1 0 7 2 をクリックする操作の記載を参照可能であり、第 1 タグを表示する具体的な実現方式について、図 1 B の実施例におけるタグ 1 0 3 1、タグ 1 0 3 2、及びタグ 1 0 3 3 の記載を参照可能であり、ここでは限定しない。

【 0 1 3 7 】

また、電子機器は、第 1 領域における各オプション、及び第 2 領域における各オプションに対応するページに入ることもできる。電子機器は、ユーザが 1 つのオプションで実行した操作を受け付けた後、さらに 1 つのオプションに対応するページに入ることができる

。いくつかの実施例では、上記の具体的な実現過程について、図 1 G におけるユーザインターフェース 1 2 に表示される 1 つのライブルームの記載を参照可能であり、ここでは贅言しない。

【 0 1 3 8 】

例示的に、本開示は、電子機器を提供し、1 つ又は複数のプロセッサと、メモリと、1 つ又は複数のコンピュータプログラムと、を含み、1 つ又は複数のコンピュータプログラムはメモリに記憶されており、1 つ又は複数のプロセッサは 1 つ又は複数のコンピュータプログラムを実行する場合、電子機器に上記の実施例のアプリケーションページ表示方法を実現させる。

【 0 1 3 9 】

例示的に、本開示は、チップシステムを提供し、チップシステムは、メモリと、センサとを含む電子機器に適用され、チップシステムは、プロセッサを含み、プロセッサが上記の実施例のアプリケーションページ表示方法を実行する。

【 0 1 4 0 】

例示的に、本開示は、コンピュータ読み取り可能な記憶媒体を提供し、コンピュータプログラムが記憶されており、コンピュータプログラムがプロセッサに実行される場合、電子機器に上記の実施例のアプリケーションページ表示方法を実現する。

【 0 1 4 1 】

例示的に、本開示は、コンピュータプログラムを提供し、コンピュータプログラムがコンピュータ上に実行される場合、コンピュータに上記の実施例のアプリケーションページ表示方法を実行させる。

【 0 1 4 2 】

上記実施例では、機能の全部又は一部は、ソフトウェア、ハードウェア、又はソフトウェアとハードウェアの組み合わせによってが実現することができる。ソフトウェアで実現する場合、全部又は一部をコンピュータプログラム製品の形態で実現できる。コンピュータプログラム製品には 1 つ又は複数のコンピュータ指令が含まれる。コンピュータプログラム指令がコンピュータにロードされて実行される場合、本開示の実施例に従って説明されるプロセス又は機能は、全部又は部分的に生成される。コンピュータは汎用コンピュータ、専用コンピュータ、コンピュータネットワーク、又はその他のプログラム可能な装置である。コンピュータ指令はコンピュータ読み取り可能な記憶媒体に記憶されることができる。コンピュータ読み取り可能な記憶媒体は、コンピュータによってアクセスできる任意の使用可能な媒体、又は 1 つ又は複数の使用可能な媒体集積を含むサーバ、データセンターなどのデータ記憶装置である。使用可能な媒体は、磁気媒体（例えば、フロッピーディスク、ハードディスク、磁気テープ）、光学媒体（例えば、DVD）、又は半導体媒体（例えば、ソリッドステートディスク（solid state disk（SSD）））などであってもよい。

【 0 1 4 3 】

なお、本明細書では、「第 1 」及び「第 2 」などのような関係用語は、単に 1 つのエンティティ又は操作を他のエンティティ又は操作と区別するためのものであり、必ずしも、これらのエンティティ又は操作の間に任意のこのような実際の関係又は順序があるように要求又は暗示するとは限らない。さらに、「含む」、「包含」という用語又はその他の任意の変形は、非排他的な包含をカバーするように意図され、それにより、一連の要素を含むプロセス、方法、品物又は機器は、それらの要素だけでなく、明確にするに列挙されていない他の要素、或いは、このようなプロセス、方法、品物又は機器の固有の要素をさらに含む。それ以上の制限がない場合、「○○を含む」という語句で限定される要素は、前記要素を含むプロセス、方法、品物又は機器には他の同じ要素がさらに存在することを排除しない。

【 0 1 4 4 】

以上の記載は、当業者が本開示を理解し又は実現できるように、本開示の具体的な実施形態に過ぎない。これらの実施例に対する多種の修正は、当業者にとって自明であり、本

10

20

30

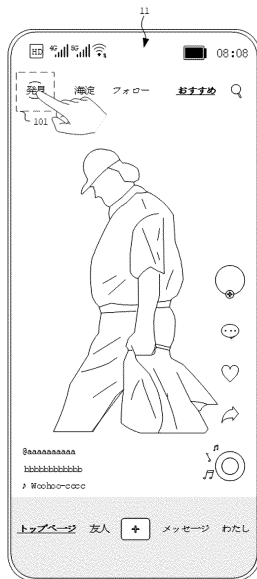
40

50

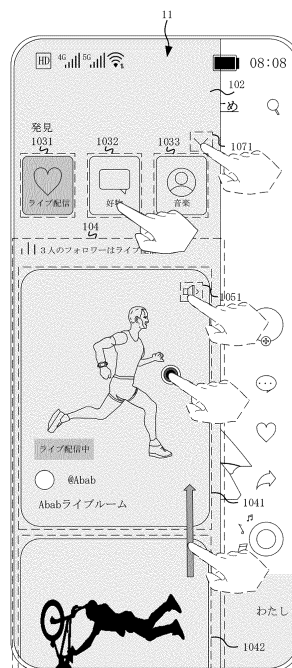
明細書に定義される一般的な原理は、本開示の精神又は範囲を逸脱することなく、別の実施例で実現されることができる。従って、本開示は、本明細書に記載のこれらの実施例に限定されず、本明細書に開示した原理及び新規特徴と一致する最も広い範囲に合う。

【図面】

【図 1 A】



【図 1 B】



10

20

【図 1 C】



【図 1 D】

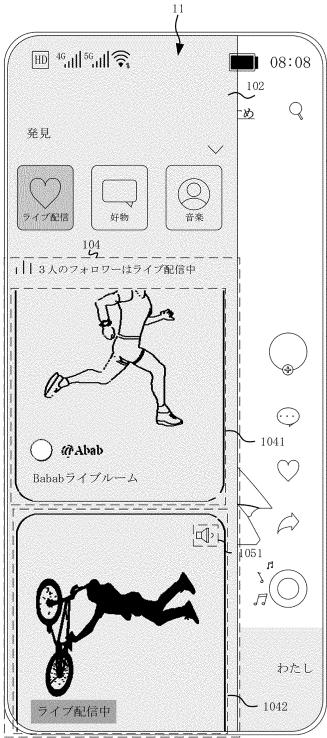


30

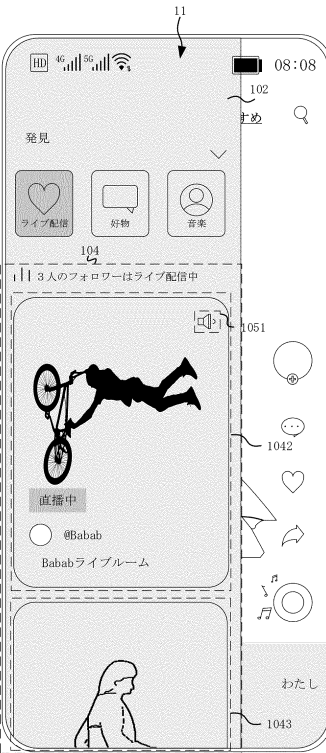
40

50

【図 1 E】



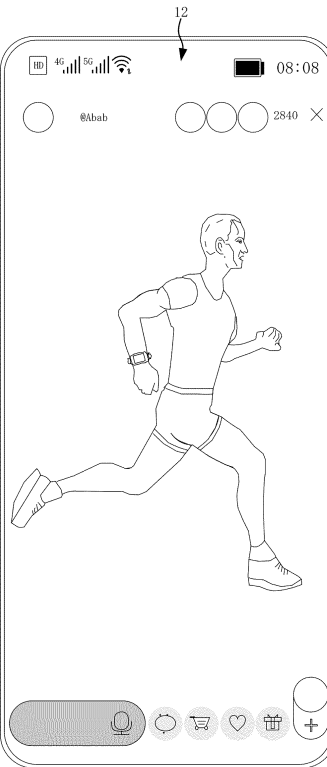
【図 1 F】



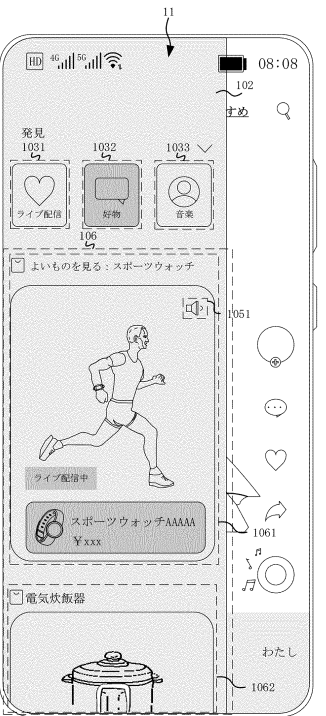
10

20

【図 1 G】



【図 1 H】

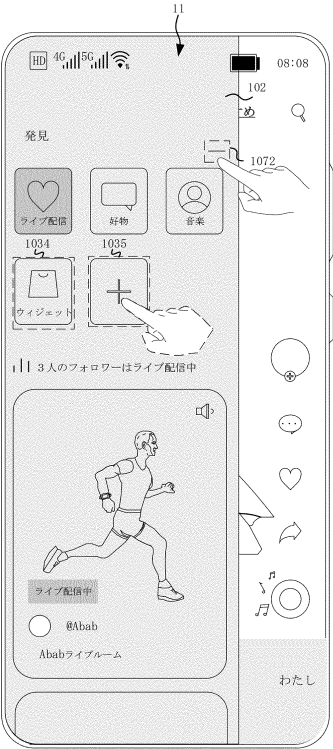


30

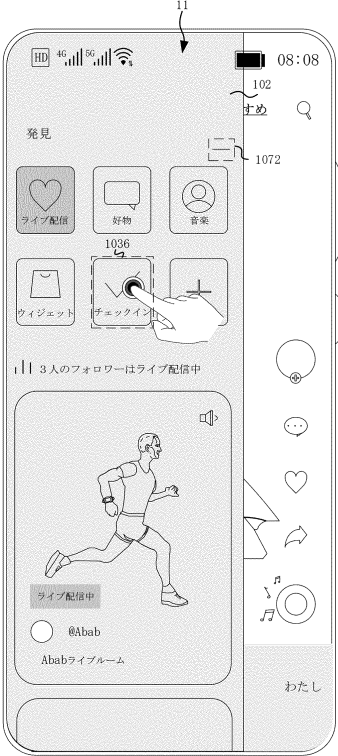
40

50

【図 1 I】



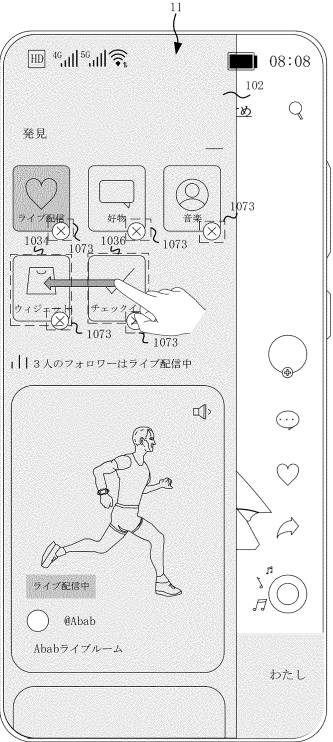
【図 1 J】



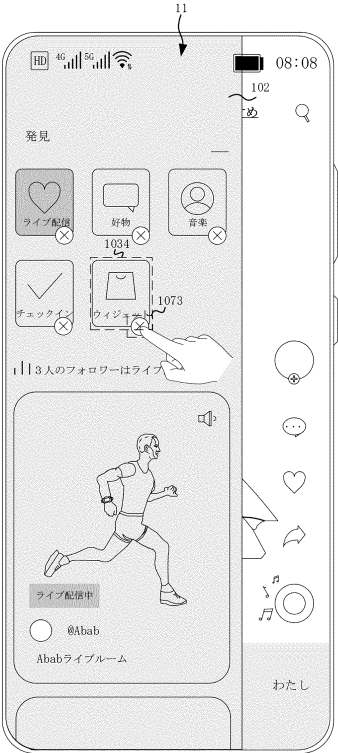
10

20

【図 1 K】



【図 1 L】

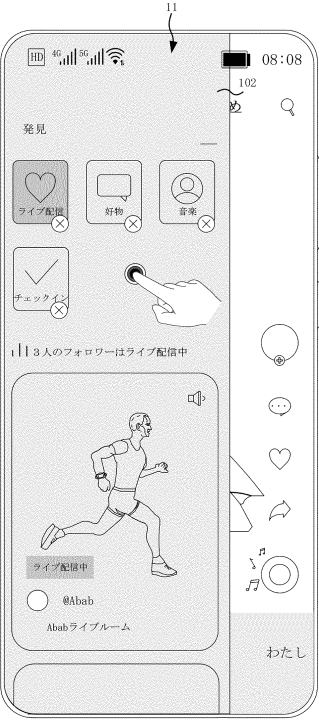


30

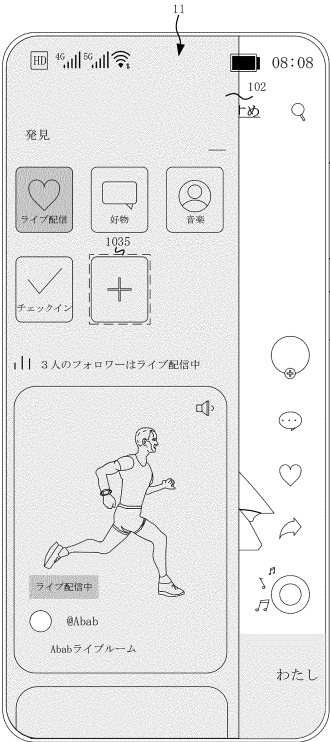
40

50

【図 1 M】



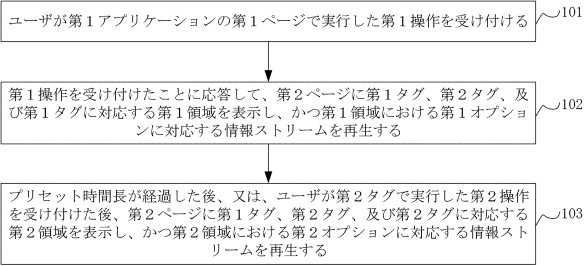
【図 1 N】



10

20

【図 2】



30

40

50

フロントページの続き

弁理士 伊東 忠彦
(74)代理人 100135079
弁理士 宮崎 修
(72)発明者 ワン, シャオルー
中国 1 0 0 1 9 0 ベイジン, ハイディエン ディストリクト, ズィチュン ロード, ナンバー・
6 3, チャイナ サテライト コミュニケーションズ タワー, ジンリトウシャオ ポスト オフィス
(72)発明者 ワン, ユェ
中国 1 0 0 1 9 0 ベイジン, ハイディエン ディストリクト, ズィチュン ロード, ナンバー・
6 3, チャイナ サテライト コミュニケーションズ タワー, ジンリトウシャオ ポスト オフィス
審査官 仲野 一秀
(56)参考文献 特表 2 0 1 4 - 5 1 9 6 4 6 (J P , A)
特開 2 0 1 9 - 9 5 9 0 7 (J P , A)
(58)調査した分野 (Int.Cl., D B 名)
G 0 6 F 3 / 0 4 8 1
H 0 4 N 2 1 / 4 3 1